

事業番号	15 06 03	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b> ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
		実施期間	～	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり				

## 1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> ・全ての学校、全ての授業で「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、授業づくりの共通基盤をつくり、授業改善を進め、児童生徒にめざす資質・能力を育む(1-1)。 ・特色のある学校づくり授業づくりに取り組み、学びの改革を進める学校の拡大を図る。(1-1) ・全ての幼児教育施設が遊びを通じた学びを実践することにより、主体的に学ぶ基盤を形成する。(1-1) ・信州の豊かな自然を教育資源とした、自然・野外教育プログラムの普及や指導体制の整備により、子どもたちに「自然を通して生き抜く力」を育む(1-2)。 <b>【これまでの取組】</b> 信州幼児教育支援センターを設置、運営：フィールド研修や幼保小接続カリキュラム（理論編）を策定 自然教育・野外教育推進事業の実施：モデル校6校を指定し、自然教育・野外教育プログラムを実践 多彩な教員研修の実施：フロンティアスピリッツ（US研修3人、国内研修20人、自己啓発研修50人） 他	
	令和2年度 点検結果 ・ 現状分析	<b>課 題</b> ・今年度、全国学力学習状況調査が中止となったため、指標となっている数値が得られなかった。 ・自然教育・野外教育推進事業に関して、派遣費用を有資格者のみとしたため、対象となる指導者が限られた。 ・フロンティアスピリッツ事業に関して、令和元年度の応募者が少なかったため、事業周知が必要である。

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	<b>1 学びの改革実践校における実践研究及び成果の拡大</b> 	
	<b>2 ICT教育推進センターを核とした市町村教育委員会との連携による学びの改革の実現</b>	
	<b>3 幼児教育支援センターによるフィールド研修の発展及び幼保小カリキュラムの実践</b> ○配慮の必要な子どもへの支援 ○市町村との連携 ○保育・幼児教育の必要性	
	<b>4 自然教育・野外教育推進事業の実施</b> 	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]					区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	1 県内の小6児童・中3生徒のうち、全国上位4分の1に含まれる児童・生徒の割合 2 県内の小6児童・中3生徒のうち、全国下位4分の1に含まれる児童・生徒の割合 3 英語コミュニケーション能力・CEFR A1相当(中学生)・CEFR A2相当(高校生) 4 「自分にはよいところがある」と思う児童・生徒の割合 5 組織的・継続的な研修を行っている小・中学校の割合	小6児童:23.3% 中3生徒:25.0% 小6児童:25.8% 中3生徒:25.7% 中学生:39.4% 高校生:38.1% 小学生:82.0% 中学生:74.1% 小学校:59.2% 中学校:62.4%	コロナの影響で調査なし コロナの影響で調査なし 中学生:43.6% 高校生:40.9% コロナの影響で調査なし コロナの影響で調査なし	小6児童:25.9% 中3生徒:25.7% 小6児童:23.2% 中3生徒:23.2% 小6児童:43.6% 中3生徒:41.2% 小6児童:82.0% 中3生徒:76.5% 小6児童:61.4% 中3生徒:62.4%	小6児童:26.4% 中3生徒:26.4% 小6児童:22.6% 中3生徒:22.6% 中学生:42.2% 高校生:43.1% 小学生:76.8% 中学生:76.8% 小学校:62.7% 中学校:58.0%	0	0	要求 110,274 予算案 -	
						当初予算	113,653	121,569	
						補正予算	△ 1,077	△ 1,209	
						合計(A)	112,576	120,360	要求 110,274 予算案 -
						うち一般財源	102,236	108,293	要求 98,081 予算案 -
決算額(B)	96,430								
職員数(人)	7.0	8.0	8.0						
成果指標設定理由	第3次長野県教育振興基本計画の中でも成果指標として掲げられており、児童・生徒の認知能力及び非認知能力を向上させるための指標として適切であると考えられるため。								

事業番号	15 06 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分）	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
1	学びの改革実践校応援事業 (授業改善推進プロジェクト事業費を統合)	2,057 千円	4,265 千円	要求 4,096 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	学びの改革実践校応援事業	直接	学校のシステム改革や授業改革を目指す学校の拡大を図るため、改革に取り組んでいる学校42校に対し、アドバイザー派遣や情報発信等の支援を実施する。	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
2	自然教育・野外教育推進事業費	1,163 千円	1,794 千円	要求 1,792 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	自然教育・野外教育推進事業	直接	子どもたちの「生き抜く力」を育むため、プログラム実践校において県独自の野外体験活動プログラムの研究・開発・普及推進並びに実践できる教員を育成する。	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
3	中山間地域の新たな学びの創造事業費	3,525 千円	1,016 千円	要求 1,016 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	教育クラウドを用いたICT活用・遠隔授業	直接	教育クラウドを用いて少人数のよさを生かした学習における情報活用能力の育成、主体的・対話的で深い学びを実現するICT活用に関する学習内容の研究を行う。	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
4	教職員研修事業費	78,447 千円	86,478 千円	要求 72,482 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	教職員研修事業費	直接	教職員の資質能力を向上させるため、初任者研修等の法定研修や先進地視察等の各種研修を実施する。	
2	教職員の資質向上事業	委託	信州型ユニバーサルデザインを若手教員に普及させるため、HP掲載用の事例紹介コンテンツの作成を委託する。 委託先：民間事業者	
3	フロンティアスピリッツ事業（自己啓発研修）	補助金	小・中・高等・特別支援学校の教職員が業務と関連する知識や技能を幅広く習得する取組を支援するため、旅費の一部を補助する。 補助金交付先：県内の教員	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
5	総合教育センター研修費	23,011 千円	21,323 千円	要求 19,834 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	総合教育センター研修費	直接	教職員の資質能力を向上させるため、希望研修を始め各種研修を実施する。	

事業番号	15 06 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検	
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
6	総合教育センター研究費	830 千円	947 千円	要求 943 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	総合教育センター研究費	直接	教職員研修に資するため、教育に関する専門的・技術的事項に関する研究調査を実施する。	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
7	幼児教育振興事業費	4,717 千円	5,746 千円	要求 10,111 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	幼児教育支援センター運営事業	直接	幼稚園及び保育所等の園種を越えて幼児教育の質の向上を図るため、関係団体との連携、保育者研修の見直し等を実施する。	
2	幼児教育支援センター運営事業	委託	質の高い幼児教育を実施するため、先進的な取組を行っている幼稚園、保育所及び認定こども園等でフィールド研修を5件委託する。 委託先：県内の幼児教育施設	
3	幼児教育支援センター運営事業	委託	R2までに作成した幼保小接続カリキュラム（理論編）に基づくモデル地区での「実践編」の研究開発を市町村に委託する。 委託先：県内市町村	